

安全で安心できる生活環境の構築

1. はじめに

本州最北端に位置する青森県は、三方を海に囲まれ、四季折々に美しい姿を見せる雄大な自然と豊かな風土に恵まれています。

ねぶた祭りを始めとする伝統的な祭りや郷土芸能が今なお受け継がれ、日本一の収穫量を誇るりんごやにんにく、全国的に有名な大間マグロやひらめなどの海の幸、地元の食材を活かした郷土料理も豊富です。

また、世界自然遺産である白神山地、日本最大級の縄文集落跡を示す三内丸山遺跡^{さんないまるやま}、浅虫や酸ヶ湯といった温泉地、平成18年に開館した青森県立美術館など、多くの観光名所もあります。

このようなふるさと青森と、ここに住む人々の命と生活を守るための取組みの一端を、今回はご紹介したいと思います。

2. 近年の県土整備事業

本県は、地震や津波、台風などの自然災害から、県民の命と暮らしを守るため、災害に強い県土づくりに取り組んでおり、水害・土砂災害や、大規模地震に伴う津波災害に対し、ハード・ソフト一体となった対策を推進するとともに、施設の老朽化に対応するための新技術の導入や長寿命化計画の策定等による戦略的な維持管理を推進し、水害・土砂災害及び津波災害の防止・軽減に努めております。

また、国において既存の道路ストックの老朽化対策や通学路の交通安全対策などに予算の重点配分がなされていることを受け、本県も施設の計画的・戦略的な予防保全等を実施し、県民の暮らしを守る道づくりに取り組んでいるところです。

一方、青森港では、港を活かした観光振興の取組みとして、ウォーターフロントエリアを利用したにぎわいづくりに力を入れております。その一つに、クルーズ船の誘致があり、今年は大規模旅客船ダイヤモンドプリンセス号をはじめ、延べ20回の寄港を実現しました。これからも、国内外を問わず、多くの観光客をおもてなしできる「みなと街あおもり」を目指します。

他方、八戸港では、北東北の国際物流拠点港として、国際海上輸送機能及びエネルギー供給機能を強化するため、港湾施設の整備を進めております。さらに、東日本大震災の発生直後から、早期の災害復旧に努め、隣県被災地の復旧・復興支援の拠点としての役割を担っております。

3. 「防災公共」の取組み

平成23年3月に発生した東日本大震災では、本県を始め各地で大きな被害が発生しました。堤防を乗り越える津波の映像や、被災後の街の様子を実際に見て感じたことは、構造物で自然の力を完全に押さえることは困難であるということ。しかし、こうした現実の前であっても、知事として「県

青森県知事 **三村 申吾**



民の命」を守っていかなくてはなりません。「構造物による減災」はもちろん計画的に進めていくわけですが、長期にわたる事業期間中や事業完了後も見据えて、「構造物による減災」と補完し合っ
て、「県民の命」を守る対策を進めなくてはならないと考えました。

県では、全国的に「防災・減災対策」の重要性が叫ばれる以前から、平成20年の「岩手・宮城内陸地震」を踏まえ、若手職員の発案により、「大規模地震発生時の複合的なインフラ災害」を想定して、道路危険箇所や急傾斜、地すべり、農林分野の山腹崩壊地区等の各所管部局で管理していた危険箇所情報を部局の壁を越えて一体的に対象として、輸送路の分断や孤立集落の発生を防ぐための検討を進めていました。この検討を出発点として、東日本大震災の教訓である「逃げる」という発想を取り入れ、今後実施すべき防災対策としてとりまとめたのが「防災公共」です。

「防災公共」とは、人命を守ることを最優先に、「孤立集落をつくらない」という視点と「逃げる」という発想を重視した、防災対策と危機管理体制の強化などのハード・ソフト一体となった取組みであり、本年6月には県内全市町村の「防災公共推進計画」を公表しました。

今後は、最適な避難経路・避難場所を周知するとともに、計画に位置づけられた各施策の効果が早期に発現されるよう、優先順位を考慮しながら

事業を実施するほか、実情に応じた計画のフォローアップ等を行い、災害時には身を守ることを最優先として避難行動をとっていただくことにならしていきたいと思えます。

4. おわりに

本県では、平成26年度から新たな基本計画「未来を変える挑戦」をスタートさせ、「強みをとことん、課題をチャンスに」を基本コンセプトに、「世界が認める『青森ブランド』の実現」に向け、積極果敢にチャレンジしていくこととしています。

この基本計画に基づき、今回ご紹介した「防災公共」に引き続きしっかりと取り組むほか、本県が有する豊かな自然や豊富な農林水産物等の地域資源を活かし、地域産業の振興や安定した雇用の確保、さらには産業人財の育成等に全力で取り組むことで、『「買ってよし、訪れてよし、住んでよし」の青森県』を目指します。



青森県基本計画

未来を変える挑戦

～強みをとことん、課題をチャンスに～

Aomori Prefectural Government Master Plan
Changing the Future of Aomori
Breakthrough Innovation